

— 消防団員被服紹介 —

防火衣

特殊な素材で作られ耐熱性に優れた上衣と、安全性に配慮したロング長靴で構成されています。

五城目町消防団では暗所でも視認性を高めるため、蛍光素材や反射材を多く使用した人目につくコート型の防火衣（上衣）を採用しています。



活動服

消防職員の活動服と同様に、あらゆる場面で着用します。

帽子や階級章、ベルトには桜のエンブレムがあらわれており、国の象徴である桜の花をシンボルにすることで、郷土愛の精神や潔さを表現しています。

このほか、消防団員被服には夏制服、冬制服があります。



— 令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞 —



五城目町消防団が令和5年7月の大雨に際して出動し、河川等の警戒巡視、積み土のう工の実施、住民の避難誘導等の水防活動を行い、人命の安全確保と被害の軽減に貢献したことが認められ、令和6年防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。

表彰式は令和6年9月13日（金）に東京都千代田区の総理大臣官邸で行われ、千葉與右工門団長が出席しました。

～編集後記～

今年の夏は猛暑とともに「令和の米騒動」と騒がれ世間をざわつかせました。県内でも関東や関西などの家族や知人へ送るためスーパーマーケットなど店舗の米の在庫が一時的に無くなったと聞いています。新米が出回るようになり在庫は安定しているように思いますが、価格は高止まりのようです。

さて、稲刈りも終わり米農家さんは落ち着いてきたところです。この頃になると籾殻を焼いて燐炭づくりをする方がいると思います。過去には籾殻焼きから周りの枯れ草などに火が移り、原野火災や林野火災に発展しました。11月3日から9日までは秋の火災予防運動期間となります。火の取り扱いには十分注意しましょう。（松橋正浩）

